

最近、居酒屋の看板（キャッチコピー）であったりテレビの字幕であったり、物事の一部を引っ張って伝える事をしなければ、お客が入らなったり視聴率が取れなくなっています。疲れている現代人は疲れて考える事が嫌になっているのです。しかし、キャッチコピーや字幕があれば考えなくても良いからです。みなさんは考えていますか？最近の宗教にもこの傾向があります。キリストを十字架にかけておく、また、曼陀羅をかけておく…そのようにすることで視覚・言葉・映像にうたえて考えないようにすることを重要視し始めています。世間の宗教は分からなくても決まった事をしてあげれば良いとしているのです。具体化する事を止めて、変化している事の一部にだけ目を向けさせられているのはなぜでしょう？世間の宗教は戒名を置く事で素晴らしい地位が得られるとか何か形に残す事が好きです。それは人間から具体的なものを見る能力を失わせる最高の方法で、そしてそんな事をするのは誰なのか考えなくてはなりません。神さまは、非常に具体的で普遍です。聖書を見ると神さまの事について「非常にありてあるものである」と、その表現から始まってそれは女性的な母の雰囲気からヤハウエと言ったり、色々な事でエホバである事を伝えて、主ありてあるものがどういう由来なのか書かれています。天地創造も神さまは非常に具体的にされました。しかし今の世間は具体的ではなくて抽象的になっています。『concrete化しましょう』～アブストラクトされていませんか？～。アブストラクト=抽象的という意味です。また、con=共に、crete=成長させる、と言う意味です。concreteは、色々なものを結集させて一つの集合体を作り上げるという意味です。これを別の意味で訳すと「具体的に」という意味です。concreteは、神さまの働きです。すべての被造物を神の愛によって一つにする…これが具体的にでありconcreteです。ギリシャ語の語源でコンクリッシャーと言いますが「神さまが作ったものを寄せ集める」という意味です。アッセンブリーズ・オブ・ゴットも「神さまによって召し集められ一つにされる」という意味です。これも具体化されています。教会は具体化するところであり、みなさんの人生も具体化させるべきです。その根元である神さまは私たちに一つの形に具体化されているのであれば抽象的に物事を捉える必要がありません。私たちは具体化させる役割を担ったconcreteです。だから、私たちが抽象的に物事を捉え判断していくと私たちの周りは全てバラバラになってしまいます。私たちに一つになる能力を神さまから与えられています。それを抽象的にさせようとしている悪魔が同じように私たちが捉えようとしています。だからこれに気をつけなければなりません。だからイエスキリストは言われました（マタイ13：9～18）。私たちは、聞いてはいるが悟らない、聞こえない、見てはいるが見ない…そういう人になっていませんか？だから私たちクリスチャンはそうならないために物事に対して具体的に理由づけをして取り組む必要があります。神さまは私たちにってどんな方ですか？毎日探求していますか？そのために私たちは祈り、聖書を読みます。神さまは、私たちにどんな方なのかを示すために聖書を与えられました。もっと具体的な神さまの全体像を理解するために教会に集い、祈り、共に礼拝を捧げるのです。教会に来るのは幸せになるためではありません。結果幸せになるかもしれませんが、神さまを知るために来るところです。私たちがクリスチャンである理由は、私たち自身が具体的に人生の中で何をすべきかを考えて行動する…それは人生の中で神さまを知るためです。日々の生活の中で具体的に物事を捉えていれば具体的に神さまに祈る事が出来ます。具体的に生きるために**①完全なものに目を向ける**。私たちは目を向けているところがどこなのかを考えなくてはなりません。クリスチャンの人生が祝福や成功やこの世の名声や生き中での喜びを求めているはいけません。「教会に来て何を求めていますか？」と聞かれて答えられますか？ダビデや旧約聖書に出てくる人々はただ一つのことを求めています。それは命の限り主の家に住むことです。私たちは、家庭や職場などあらゆる場所で神さまを見る事を具体的に求めているでしょうか？それが具体化されないと物事が抽象化されてしまいます。どうでもいいところに目を向けずに完全なものに目を向けましょう。神さまに目を向けるという事です。人は抽象的な事でしか考えてくれないので、私たちの見ている先が世の中の動きや人になっているとどうしても抽象的にせざるを得ないのです。（1コリ13：10～13）ここで完全なものは信仰と希望と愛だと言っています。そしてそれは、神さまの普遍的具體性です。完全なものを見ようと努力していますか？そしてそれを見ようとしている人は完全に知るようになります。それを見ようと努力しない人は完全に知るようにはなりません。そして、完全なものを見ようと努力するのを妨害するのは疲れです。頭の疲れは解決しないと取れません。完全な人と解決して疲れを無くしましょう。**②顔の覆いをとる**。（11コリ3：10～18）モーセは顔に覆いをかけました。それを取り除いたのはイエスキリストです。ですから、私たちの顔の覆いはすでに取り除かれているのです。もしも覆いがかけられているのならそれは疲れや問題などくだらない事です。これはあくまで覆いであって私たち自身ではありません。こういう時は神様の作られた完全に近い被造物を見て神さまの偉大さを感じて顔の覆いを取り除いていきましょう。教会は覆いを強制的に取り除く所です。イエスキリストは「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。」と言っています。疲れたら教会に行けばいいです。でも、具体的にあなたがどうなりたいたいのかが決めればその具体的な方向に進むので疲れなんかには負けません。目標がないから結果が見いだせなくて疲れるのです。私たちの使命を全うするため・疲れで顔を覆わないために具体的に描いてください。**③自らでもつ**。自分で自分の具體性を持ってください。「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」（ガラテヤ2：20）自分の中に自分の具体的な生き方をもってください。「あなたはどんな人？どう生きているのですか？」と聞かれて説明できますか？「私はこう生きる」とはっきり答えられて初めて結果を出し全てが栄えます。ですから、自分がやる事に具體性を持って計画を立てて、そして実行してください。しかしそれは明日の心配ではなくて今日の計画です。「明日どうしよう」と悩むのではなくて「今日する」と決める事です。そうすると私たちの行う事で結果が得られるようになります。具体的に考えていきましょう。（要約者：行司佳世）